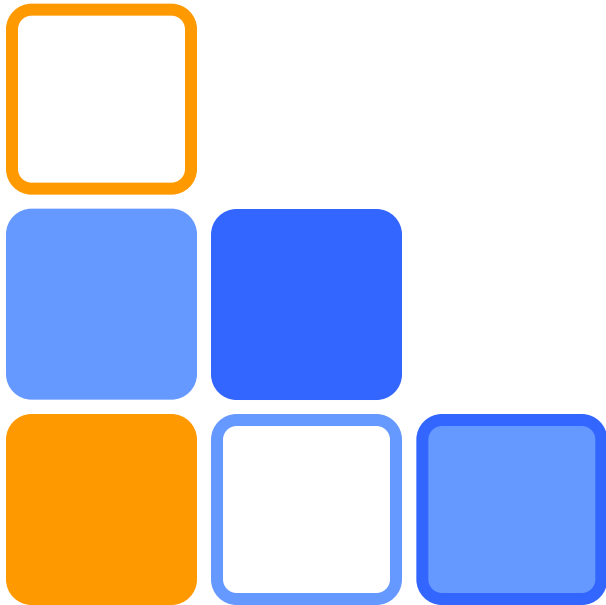


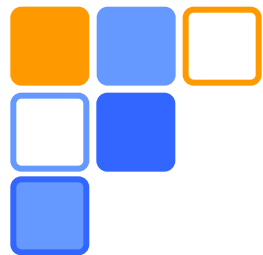
運輸サービス部会

2012年の回顧と2013年の展望

森田 透

2013年2月22日





2012年の回顧



2012年の回顧 概要（1/2）

□ 物流業界全般

- 貨物の動きは鈍化傾向
しかし、物流インフラはパンパン

□ 構内物流、機工、整備業界

- 製鉄部門高コスト対しての影響で外注施策が厳しくなる

□ 航空業界

- 旅客ほぼ横ばい、航空貨物は減少

□ 海運業界

- コンテナ船：輸出入は微増
- ばら積み船：微増



2012年の回顧 概要（2/2）

□ 旅行、ホテル業界

- 客室稼働率低下
- 日本以外からの来伯微増、日本からは横ばい

□ 通信、IT業界

- 携帯電話の加入者数は人口を超え今後微増
- IT業界はクラウドサービス等の増加傾向



物流業界

□ 物流業界

- 景気減速による荷動きの鈍化
- アルゼンチン輸入規制による輸出ボリューム減少
- 長引いた税関ストライキ
- RADAR取得方法の変更
- 引越しが全体的に増加傾向

連邦収税局の税関登録(RADAR)制度とは

輸出入取引を始めるにあたっては、まず貿易統合システム(SISCOMEX)を導入しなければならない。

輸出入業者がブラジルで貿易業務を行う場合、

2004年10月に変更された収税局指令第445号に基づく書類を揃え、各輸出入業者が所在する収税局支局に申請する。



構内物流、機工、整備業界

□ 構内物流、機工、整備業界

- 鉄鋼メーカーの収益性悪化
- 合理化施策の中で外注合理化施策が強力に推進
- 厳しい経営環境

ブラジルの主な鉄鋼メーカー



設立: 1969年



設立: 1958年



設立: 2006年



設立: 1901年

航空業界（1/2）

□ 旅客

- 国内線

- これまでより増加傾向が緩やかで前年比6.8%増
- AZUL、TRIP、等、LCCがシェアを25%と伸ばし
TAM・GOLのシェアを奪う
- 旅客数は5年間で80%の大幅増加

- 国際線

- 前年比3.2%増でほぼ横ばい
旅客数は5年前の50%増
- 座席利用率は79%
ほぼ満席状態





航空業界（2/2）

□ 航空貨物

- INFRAERO統計

□ 国内	前年比	6%減
□ 国際（輸入）	前年比	15%減
（輸出）	前年比	26%大幅減
□ クーリエ	前年比	6%減

INFRAEROとは

Empresa Brasileira de Infraestrutura Aeroportuária, Infraeroの略称。1972年に設立。ブラジルの主要空港を統括する。



出所—INFRAEROサイト

海運業界

□ コンテナ船

コンテナ船輸出入数量は

- 輸入は前年比 2%の微増
- 輸出は前年比 3%の微増



□ 不定期船

- 鉄鉱石輸出量は中国の経済減速もあり
昨年微増に留まる



旅行、ホテル業界

□ ホテル

- 通年では3.7%ほど低下だが、
- 客室平均稼働率は下期に70%と良好な推移

□ 旅行

- 海外からの来伯者数 : 前年比2.5%の伸び
- ブラジル観光収入 : 前年比1.4%の伸び
- 全体的に来伯する観光客、ビジネス客が増加
- 反面、日本からの観光客は
ブラジルの物価高、治安、観光査証の必要性から
横ばい傾向。
- 日本向け観光客はトヨタカップ効果で回復

通信、IT業界（1/2）

□ 通信業界

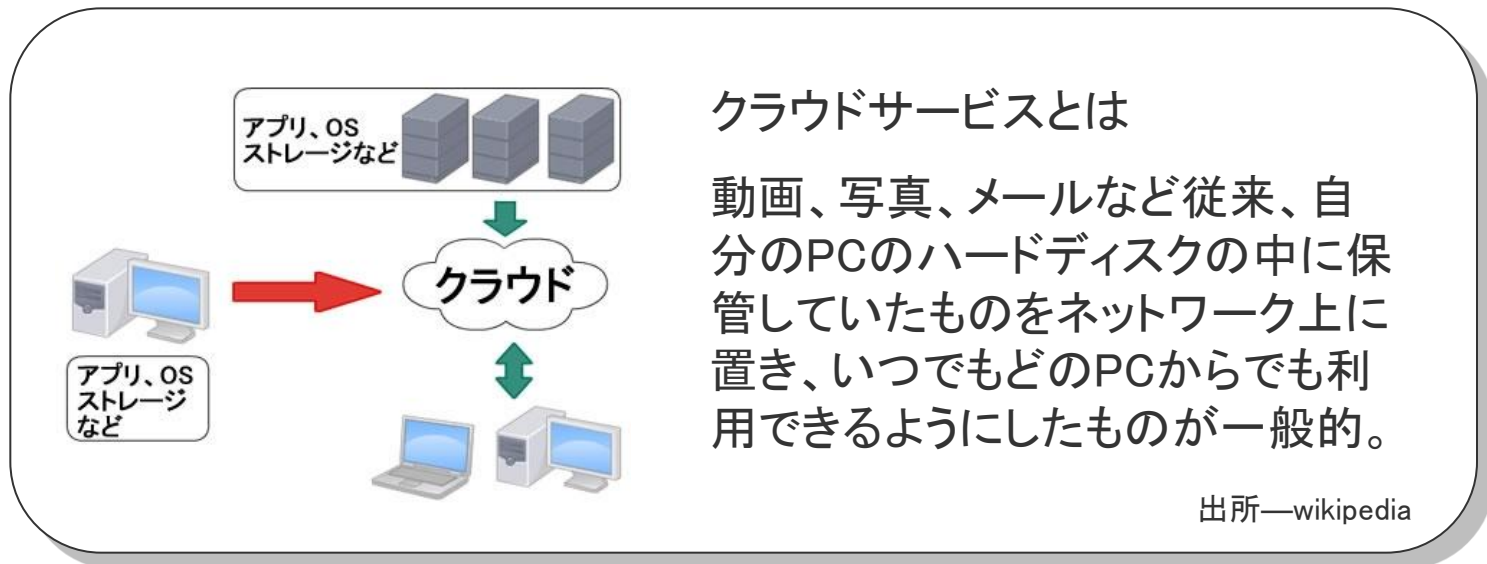
- 携帯電話加入者数：2億617万台で2%増
プリペイド方式82%が81%に
スマートフォン利用で減少
- 3G加入者数：6,594万台で10%増
- ブロードバンドユーザ数（Set/12）
1.9万台で7%増
- Telefonica社はVIVOブランドでサービスを統一
- 第4世代（4G）Oi, Claro, Vivo, TIMの4社対応

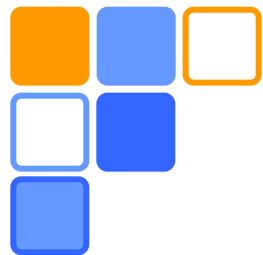


通信、IT業界（2/2）

□ IT業界

- クラウドサービス、サーバーの仮想化、企業内SNSの利用の拡大
- IT技術者の確保の困難さ





2013年の展望

2013年の展望 概要 (1/2)

□ 物流業界全般

- 空港・港のインフラ整備始まる

□ 構内物流、機工、整備業界

- 厳しさは継続

□ 航空業界

- 旅客横ばい / 貨物増加予想

□ 海運業界

- コンテナ船：輸出が伸び、輸入は緩やかな伸び
- ばら積み船：輸出増を期待



2013年の展望 概要 (2/2)

- 旅行、ホテル業界
 - 来伯客の増加を予想



- 通信、IT業界
 - クラウドサービスへの移行加速
 - 4Gサービス開始



物流業界

□ 物流業界

- 年末前に荷動き回復か？
- インフラ整備の遅れ、ただ一点サントス港で新バース開設
- トラック運転手の休息に関する法律施行による輸送能力低減、運賃高騰化による産業界への影響？
- 引越が増加傾向となる



<サントス港>

構内物流、機工、整備業界

□ 構内物流、機工、整備業界

- 鉄鋼製品輸出競争力低下
- 輸入鉄鋼製品の輸入量がどこまで歯止めされるか？
- これらにより外注政策にも影響が出る
- 厳しい経営環境は継続

鉄鋼製品いろいろ



薄板



形鋼



棒鋼



鋼管

出所—JISF 一般社団法人日本鉄鋼連盟

航空業界

□ 旅客

- 国内線

- 12年と同じ推移
- LCCの進出拡大→再編？

- 国際線

- 国外のキャリアーの新規参入の増加？
- 空港インフラの改善、徐々に進むか？
 - GRU空港 TC-3の新設、駐車場の増設
 - SP首都圏からGRU空港へモノレールの設置

□ 航空貨物

- 航空貨物輸出入全体で12%の増加予想 (INFRAERO)



<TRIP航空>

海運業界

□ コンテナ船

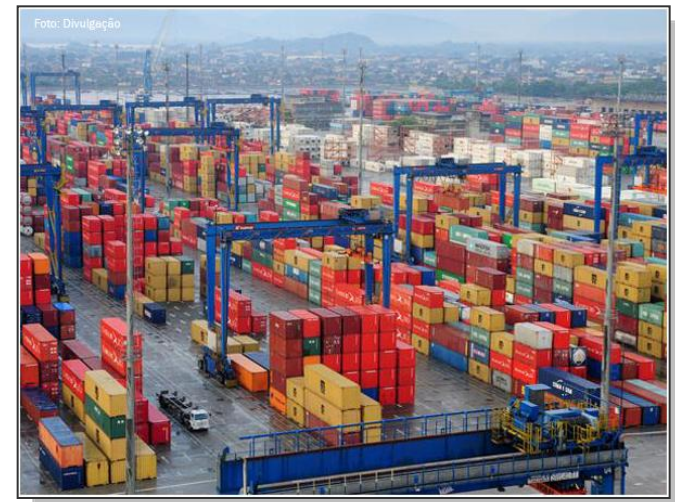
- 輸入：今後とも穏やかな伸びが継続すると予想
- 輸出：農作物のコンテナ化進捗と為替次第で堅調な伸びが期待できる

□ 不定期船

- 鉄鉱石の輸出は増加を期待

□ 港湾

- サントス港の新設ターミナルの開業（13年下期）による混雑解消を期待



旅行、ホテル業界（1/2）

□ ホテル

- 6月のコンフェデレーションカップ、関連イベント等で観光客、報道人の来伯が増加する予想
- 各主要都市のホテルのベット数不足傾向は継続

FIFAコンフェデレーションズカップ2013会場

ベロオリゾンテ : エスタジオ・ゴベルナドール・マガリャンイス・ピント

ブラジリア : エスタジオ・ナシオナル・デ・ブラジリア

リオ・デジャネイロ : エスタジオ・ド・マラカナン

サルヴァドール : アレーナ・フォンチ・ノヴァ

フォルタレザ : カステロン

レシフェ : アレナ・ペルナンブーコ



出所—wikipedia

旅行、ホテル業界（2/2）

□ 旅行

- コンフェデレーションカップは参加チームが少なく期待薄
- 旅行者数は国内国際とも前年増を予想
- 日本からの進出企業の増加によりビジネスでの日伯間旅行増の見込
- ブラジルから日本への観光客は12年を上回る事は無い予想
- 日本からの観光客増加を進めるには**観光査証免除協定**が重要なポイント



通信、IT業界

□ 通信業界

- コンフェデレーションカップに向け主催6都市で4Gのサービスが開始
- 税制の電子化に次いでINSSの電子化プロジェクトが開始

□ IT業界

- クラウドサービスへの移行加速
企業内SNSツール活用拡大
- ITインフラの設備投資は増加傾向

□ 課題、問題点

- 技術者不足、人件費の高騰
- 電力不足（停電対策）により
都市型サービスから地方型へ移行？

